

伊那谷スケッチ

～自然と文化を巡るふるさと再発見～ 第二十六回



2015年11月6日阿智村で行われた社会環境アセスメント委員会

前島久美

お正月明けから早くも春が来てしまったかのようです。車を走らせると遠くで春霞がみえて、梅畑では梅が咲いています。地面からはフキノトウも……四季の中で冬が一番好きな私は少し心細さを感じています。

知人からの年賀状で今年の干支は、丙申（ひのえさる）ということを知りました。丙申の文字は「形が明らかになっていく」という意味があるそうです。「リニアだけは形になってほしくない」そんなことを感じたお正月でした。

伊那谷スケッチ 今号は前号に引き続き、全国初の試み、「社会環境アセスメント」を実施している下伊那郡阿智村から岡庭一雄さんのインタビューと2015年11月6日に社会環境アセスメント委員会を傍聴してきた様子をお届けします。

リニア計画と阿智村

2014年秋、環境アセスメントの結果を経て阿智村は、木曾・南木曾の残土の受け入れを拒否、清内路の1-21号線は生活用道路なので工事専用道路を作るよう県を通してあ

らかじめJR東海に要望を伝えた。

しかし、JR東海が2014年11月に説明会を開いた際、既存の計画を変更することはなかった。「国道だから通っても良い」というのが彼らの言い分であった。その上、JR東海

は環境保全協定を個々の町村と結ばないと言う。

当時村長だった岡庭さんは「住民目線での調査はしてないだから我々が調査する。調査後に阿智村主導で環境保全協定を結ぶということでどうだ、ということをついたらJR東海はノーとは言えなかった」と話す。

「社会環境アセスメント」の役割

JR東海の説明では渋滞があるか、ないかという提示はあったが「そこに住む人たちがどう思うのか」という調査はされていない。

「開発のためには住民が犠牲になって当たり前だ！」というのが戦後の日本の開発行政の考え方であり、その考えに基づいて行われるのが「環境アセスメント」だ。

一方、社会環境アセスメントの役割は「渋滞があるか、ないか」ではない、「道路の行き違いができる、できない」というものでもない。そのことによって『村が進めてきた村づくりにどういう影響があるのか』というのが基本。それが大事なんですよ、と岡庭さんは話す。

社会環境アセスメントの結果

2015年11月6日に阿智村の社会環境アセスメント委員会が開催されるというので傍聴に出かけた。

住民を対象にしたアンケートの集計結果が示された。アンケートは全村民16歳以上を対象に行い、回収率は、全体の5割強だったという。

リニア工事に関して「反対」か「賛成」かの認識に分けるとしたらほぼ半々の意見があった。ただ、クロス集計により工事に係る地域とそうでない地域との間でリニア工事の認識にかなり温度差があることがわかった。危惧されていることは、今ある環境に変化が加わることによって地域づくり、あるいは村づくりに直接影響するという根本的な問題であった。

「社会環境アセスメント」という観点にお

いて委員会の役目は、「科学的データー」をいかにわかりやすく住民に提示し、住民の意見を吸い上げるかどうかということだ。

例えば、阿智村の温泉地のだ真ん中をピーク時で工事車両が920台が通ることについてJR東海は「渋滞はおきない」としたが、住民に不安が残った。JR東海の説明では通常それほど大型車が通る場所でもないところに920台がどれほどのボリュームなのかが住民にはイメージしにくかった。それに対して委員会では「シミュレーションを独自に出す」ということで対応している。

今回示されたのは、たたき台だったため細かな指摘はあったものの、住民アンケートの結果に基づいて、工事中の冬場の交通シミュレーションの作成や、「騒音」についても希望する住民に対して直接聞いてもらってはどうか、などの意見があった。

今後、「村の意向」としてJR東海や県と調整していかなければいけない機会は多々あるかと思うが、何を持って「村の意向」とするのか、という問いにおいて阿智村のやり方は相当なものに感じた。

2014年11月JR東海は「住民の理解と同意がなければ着工しない」と発言したが私たち住民も何をもって「理解と同意」かと問われれば即答はできないというのが実際のところではないだろうか。住民としては、JRが示したデータでは科学的根拠が希薄で比較することが困難であり、具体的な対策も浮かばない。

住民が主体的に考えて決めることを「自治」というのであれば、それをサポートするのが阿智村で実践されている「社会環境アセスメント」であると感じた。

住民の意見をアンケートで網羅することや生活者の目線に立った科学的データーを独自に提示し、再び住民の意見を汲み上げるプロセスはまさに「村づくり」そのものに繋がることだと感じた。